



校長室通信

小国町立小国中学校

令和3.9.3(金) No16

文責 狭間卓史



「暑くて熱い夏」

夏休み中の本校生徒の姿については、先週号(15号)で部活動を中心にお伝えしたところでしたが、今号では学習面での頑張りを紹介させていただくこととします。

7・8年生は夏休み中の課題の進み具合を確認する日を設けていましたが、9年生は来春の進路決定に向けて、自ら計画立てて取り組む力を高めたいとの思いから自主学習会を中心とした取組でした。主任の林教諭が企画し、学年担当職員全員が交替での対応でしたが、その学習内容は参加生徒各自の計画に一任されており、学校からの課題に取り組む生徒もいれば、タブレットドリルを活用して五教科の強化を図る生徒もいました。特にタブレットドリルの取組については、どの生徒がどれだけ取り組んでいるのか、どの難易度の問題に取り組んだのかが職員のタブレットで一瞬にして把握出来るようになっており、生徒の頑張りを学年部職員は目を丸くして喜んでいました。ほぼ毎日参加していた生徒もおり、熱心に学ぶその姿は、これからの学年部取組の軌道修正につながっていくはずです。

また、先号でお知らせしました町民センターで開催された「地域未来塾」では、本校卒業生の波多野さんが指導にあたってくださいましたが、校内での学習会にも、これもまた本校を卒業した高校生が指導に参加してくれる姿もありました。何よりも心強い先輩たちの姿に、9年生の次年度以降の姿が重なって見えました。それは本校が育てたい生徒の姿でもありました。

あっという間に過ぎた夏休みは、東京オリンピックやパラリンピックに負けなくらいの熱い夏休みでした。学習の成果はすぐには出ないかもしれませんが、努力の仕方を学びつつある生徒が、これからどこまで伸びていくのか楽しみです。



【ものすごい集中力です】



【黙々と頑張っています】



【頼もしい先輩たちです】

「潤いと元気のもと」

現在、本校校舎前の花壇には、マリーゴールドやサルビアの花が咲き、勢いよく育ったコキア(ほうき草)と共に、登下校する生徒を楽しませてくれています。この花々は「小国町学校運営協議会地域学校協同本部」の室原明美コーディネーターを始め、花育活動応援団の小田原英子さん、金古光子さん、松寄優子さんが植えてくださったものです。



【応援団の皆さん方です】



【元気よく咲いています】

コロナ禍で様々な活動が制限されている昨今ですが、花壇の花々から潤いと元気を分け与えてもらっています。あらためてありがとうございます。